

地域環境資源センター—XIVG型—XIVGP型
設計指針（平成23年度改訂版）の正誤表

平成26年8月14日

（一社）地域環境資源センター
集落排水部

旧頁	誤	正																																		
7	<p>なお、従来型のJARUS－XIV_G、JARUS－XIV_GP型の放流水における計画処理水質及び除去率は、次のとおりである。</p> <p>① 計画処理水質</p> <p style="text-align: center;">表-4-7 計画処理水質</p> <table border="1" data-bbox="156 391 1086 558"> <thead> <tr> <th>BOD (生物化学的酸素 要求量：mg/L)</th> <th>COD (化学的酸素 要求量：mg/L)</th> <th>S S (浮遊物質 ：mg/L)</th> <th>T-N (窒素含有量 ：mg/L)</th> <th>T-P (リン含有量 ：mg/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 以下</td> <td>20 以下</td> <td>15 以下</td> <td>15 以下</td> <td>1 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、TP（リン含有量）に係る計画処理水質については、JARUS－XIV_GP型（リン除去対応型）を適用する場合のものである。</p> <p>② 除去率</p> <p style="text-align: center;">表-4-8 除 去 率</p> <table border="1" data-bbox="156 750 1086 1181"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>除去率 (%)</th> <th>流入水 (mg/L)</th> <th>放流水 (mg/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td>92.5 以上</td> <td>200</td> <td>15 以下</td> </tr> <tr> <td>COD (化学的酸素要求量)</td> <td>80 以上</td> <td>100</td> <td>20 以下</td> </tr> <tr> <td>S S (浮遊物質)</td> <td>92.5 以上</td> <td>200</td> <td>15 以下</td> </tr> <tr> <td>T-N (窒素含有量)</td> <td>65.1 以上</td> <td>43</td> <td>15 以下</td> </tr> <tr> <td>T-P (リン含有量)</td> <td>80 以上</td> <td>5</td> <td>1 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、TP（リン含有量）に係る除去率については、JARUS－XIV_GP型（リン除去対応型）を適用する場合のものである。</p>	BOD (生物化学的酸素 要求量：mg/L)	COD (化学的酸素 要求量：mg/L)	S S (浮遊物質 ：mg/L)	T-N (窒素含有量 ：mg/L)	T-P (リン含有量 ：mg/L)	15 以下	20 以下	15 以下	15 以下	1 以下	項 目	除去率 (%)	流入水 (mg/L)	放流水 (mg/L)	BOD (生物化学的酸素要求量)	92.5 以上	200	15 以下	COD (化学的酸素要求量)	80 以上	100	20 以下	S S (浮遊物質)	92.5 以上	200	15 以下	T-N (窒素含有量)	65.1 以上	43	15 以下	T-P (リン含有量)	80 以上	5	1 以下	<p>このページ全部を削除。</p>
BOD (生物化学的酸素 要求量：mg/L)	COD (化学的酸素 要求量：mg/L)	S S (浮遊物質 ：mg/L)	T-N (窒素含有量 ：mg/L)	T-P (リン含有量 ：mg/L)																																
15 以下	20 以下	15 以下	15 以下	1 以下																																
項 目	除去率 (%)	流入水 (mg/L)	放流水 (mg/L)																																	
BOD (生物化学的酸素要求量)	92.5 以上	200	15 以下																																	
COD (化学的酸素要求量)	80 以上	100	20 以下																																	
S S (浮遊物質)	92.5 以上	200	15 以下																																	
T-N (窒素含有量)	65.1 以上	43	15 以下																																	
T-P (リン含有量)	80 以上	5	1 以下																																	

地域環境資源センター—XIV_G型—XIV_{GP}型（平成23年度改訂版）の正誤表

旧頁	誤	正																																		
9	<p>(解説)</p> <p>(1) JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型における系列数は、処理対象人口規模に応じて、経済性や維持管理性等を考慮し定める。</p> <p>※ なお、従来型についてのJARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型における系列数で2系列の場合の処理対象人口は2,001～6,000人である。</p> <p>(2) 前処理設備には、流入汚水量や流入特性等を把握するため、原則として指示・積算・記録等の機能を有する流量計を設置する。</p>	<p>(解説)</p> <p>(1) JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型における系列数は、処理対象人口規模に応じて、経済性や維持管理性等を考慮し定める。</p> <p>(2) 前処理設備には、流入汚水量や流入特性等を把握するため、原則として指示・積算・記録等の機能を有する流量計を設置する。</p>																																		
55	<p>(1) 標準的なばっ気槽の槽数、室数区分、初期運転対応室数は、表-8.1-1に示すとおりとする。</p> <p>表-8.1-1 標準的なばっ気槽の槽数、室数区分、初期運転対応室数</p> <table border="1" data-bbox="168 1013 1097 1220"> <thead> <tr> <th>処理対象人口（人）</th> <th>系列数</th> <th>槽数</th> <th>室数</th> <th>初期運転対応室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>201～700</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">2</td> <td>2室運転</td> </tr> <tr> <td>701～3,000</td> <td>1室運転可能</td> </tr> <tr> <td>2,001～10,000</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1室運転可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお従来型の場合は2,001～6,000</p>	処理対象人口（人）	系列数	槽数	室数	初期運転対応室数	201～700	1	1	2	2室運転	701～3,000	1室運転可能	2,001～10,000	2	2	4	1室運転可能	<p>(1) 標準的なばっ気槽の槽数、室数区分、初期運転対応室数は、表-8.1-1に示すとおりとする。</p> <p>表-8.1-1 標準的なばっ気槽の槽数、室数区分、初期運転対応室数</p> <table border="1" data-bbox="1220 1013 2150 1220"> <thead> <tr> <th>処理対象人口（人）</th> <th>系列数</th> <th>槽数</th> <th>室数</th> <th>初期運転対応室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>201～700</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">2</td> <td>2室運転</td> </tr> <tr> <td>701～3,000</td> <td>1室運転可能</td> </tr> <tr> <td>2,001～10,000</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1室運転可能</td> </tr> </tbody> </table>	処理対象人口（人）	系列数	槽数	室数	初期運転対応室数	201～700	1	1	2	2室運転	701～3,000	1室運転可能	2,001～10,000	2	2	4	1室運転可能
処理対象人口（人）	系列数	槽数	室数	初期運転対応室数																																
201～700	1	1	2	2室運転																																
701～3,000				1室運転可能																																
2,001～10,000	2	2	4	1室運転可能																																
処理対象人口（人）	系列数	槽数	室数	初期運転対応室数																																
201～700	1	1	2	2室運転																																
701～3,000				1室運転可能																																
2,001～10,000	2	2	4	1室運転可能																																

地域環境資源センター—XIV_G型—XIV_{GP}型（平成23年度改訂版）の正誤表

旧頁	誤	正
105	<p>表-9.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型においてはbは92.5%とする。</p>	<p>表-9.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p>
113	<p>表-9.2-1 汚泥濃縮槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型を用いる場合には92.5%とする。</p> <p>表-9.2-2 汚泥濃縮槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型を用いる場合には92.5%とする。</p>	<p>表-9.2-1 汚泥濃縮槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>表-9.2-2 汚泥濃縮槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p>
122	<p>表-9.3-1 汚泥濃縮機本体に係る汚泥濃縮処理時間の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型の場合には92.5%とする。</p>	<p>表-9.3-1 汚泥濃縮機本体に係る汚泥濃縮処理時間の算定式</p> <p>b：計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G、JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p>

地域環境資源センター—XIV_G型—XIV_{GP}型（平成23年度改訂版）の正誤表

旧頁	誤	正
123	<p>表-9.3-2 汚泥受槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b : 計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型については92.5%とする。</p>	<p>表-9.3-2 汚泥受槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b : 計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p>
128	<p>表-9.4-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b : 計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p> <p>※なお従来型の場合には92.5%とする。</p>	<p>表-9.4-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>b : 計画BOD除去率（ただし、JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設では、95%とする。）</p>
138	<p>表-10.1-2 ばっ気槽の酸素要求量に係る算定式</p> <p>ρ_B : BOD除去率（JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設にあつては、95%を標準とする。）</p> <p>※なお従来型においては92.5%を標準とする。</p>	<p>表-10.1-2 ばっ気槽の酸素要求量に係る算定式</p> <p>ρ_B : BOD除去率（JARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設にあつては、95%を標準とする。）</p>
139	<p>N_D : 除去窒素量 (kg·N_D/日)</p> <p>また窒素除去率（JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設にあつては65.1%を標準とする。）</p> <p>※なお従来型にあつてはJARUS—XIV_G, JARUS—XIV_{GP}型共に65.1%とする</p>	<p>N_D : 除去窒素量 (kg·N_D/日)</p> <p>また窒素除去率（JARUS—XIV_{GP}型を活用した汚水処理施設にあつては65.1%を標準とする。）</p>